

浦和東部地区元気アップネットワーク

## 地域の宝さがし（第3回）

日時 12月3日（土） 10時～12時頃

場所 浦和ふれあいの里

出席 35名

### 1. 開会

2. あいさつ 高橋代表

3. 前回までの経緯説明 （資料1）小野崎



### 4. 初参加者の自己紹介

#### ○うさぎカフェ（横尾さん）

- ・ 6年前に近所のおばあちゃん達のお茶の場を提供したくて始めた
- ・ 火曜日は麻雀DAYなども開催している。
- ・ ごま豆乳坦々うどんなどが人気

#### ○エスコートベア・きざみ屋本舗（島村さん）

- ・ 自費による生活サポート事業
- ・ 保険ではカバーができないこともある
- ・ 看護師や薬剤師などから構成されていて充実したスタッフ

#### ○久保さん

- ・ ケアマネとして活動している

#### ○スワンベーカーリー（飯塚さん）

- ・ 障がい者の自立・就労の場の確保を目的に設立
- ・ 10年目になるがなかなか黒字にならない。競争も厳しい
- ・ 9人の障がい者が働いている。多様である。
- ・ 社会の理解を広げていきたい

#### ○ニチイホーム（藤本さん）

- ・ H27.8に大東に老人ホームを開設。現在入居者40名ほど
- ・ 健康体操を公開で月1回行っている

#### ○耳の会（若井さん）

- ・ 傾聴ボランティアの会。34名で活動している。
- ・ 現在13施設にうかがっているが、要請があれば増やしていける。

#### ○まどか浦和領家

- ・ 子ども神輿の休憩所を運営したり、地域清掃活動に参加している
- ・ 認知症サポーター養成講座も開催している
- ・ 皆さんから声をかけてもらえるようになっていろいろ活動していきたい

#### ○ヴィプロ・首都圏介護施設案内センター（松本さん）

- ・ 老人ホーム紹介センターを料で実施している
- ・ 12年目になる

#### ○松田さん

- ・ 領家6丁目で自治会役員などをしてきた
  - ・ 現在、緑寿会に参加して活動している
- うらしん（佐藤さん）
- ・ 介護保険を利用した訪問看護やデイサービスなども実施
  - ・ ケアマネをはじめとした専門職の集まり
  - ・ 地域の中で何ができるか模索中
  - ・ 平和通りで居場所づくりをしている。歌声カフェなども開催。
- 医療生協（菊池さん）
- ・ 東部圏域に4か所展開している
  - ・ 資料の配布にあわせて、ポストの状態などに配慮している
  - ・ 各種教室やあんしんルームを月1回程度公民館で開催。
  - ・ 家事援助や外来援助のニーズが増えている。
  - ・ 700円/hrで受けている
- 児童デイサービス山桜（内田さん）
- ・ 発達障害の子ども達など約30名が利用
  - ・ こども食堂をやったことあるが、人手不足で中断している。道具などがあるので、協力してくれる方々がいれば実施した。
5. マップづくり報告（資料-2）スマイルハウス
- ・ 今後、相談活動や情報提供している団体のリスト化やマップもつくりたい
  - ・ 必要としている人にどうやって届けていくかを考えたい
6. 話し合い「不足するお宝を増やすために！」
- (1) グループに分かれて意見交換
- 【A班】
- ・ この活動を大きく育てられるとよい
  - ・ 活動したい人がいても、場所や施設がなくて形にできないこともある。場所や施設を持っているところと連携などができるようになればいい
  - ・ そういう場所があれば、オレンジカフェなどもできる
- 【B班】
- ・ ここにきて初めて知った取り組みもある
  - ・ この他にもボーイスカウトのような団体もあり、そことの連携もある。何か生かせるのではないだろうか。
  - ・ 何かやりたい人、協力したい人、やってほしい人のマッチングが、このネットワークでできるとよい。情報の集まる場があるとよい
  - ・ 自治会の悩みや、住民の反応がない、わからないこと。もっと交流が生まれるようなものがあるとよい



【C班】

- ・ 情報を検索しやすいデータベースがあるとよい
- ・ シニア向けのヘルプステーションのようなものがあるとよい。ステッカーなどをつくって店舗に掲示するとかあるといい
- ・ 活動団体の高齢化が進んでおり、若い人の参加を模索していく必要がある

【D班】

- ・ このネットワークをとおして知り合えることも大事。
- ・ うらわ学園のバザーなどをきっかけに一般の人の交流ができる場などができるとうい
- ・ SOSをうまく発信できない方の発見なども、このネットワークを生かして支援できるとよい



(2) 全体

①コーディネーターについて

- 地域のマッチングをしていくコーディネーターが設置されることになった  
地区社協 羽田さん  
サポートセンター 上岡さん

②ネットワークの参加者の登録制度について

- ・ 活動のお知らせや、一緒に何か相談するのに、登録制度をとりたい
- ・ 登録用紙をつくったので、希望者は提出してほしい

③うらわ学園について

- ・ うらわ学園から地域との連携の申し出があり、元気アップネットワークと話し合いをしている
- ・ サロンや各種教室などを開催していきたい

④今後の進め方について

- ・ ネットワークのメンバーの中で有志によるプロジェクトを実施していく  
言い出しっぺプロジェクト制度としてはどうか
- ・ 例えば、次のような案がある
  - 元気アップサロン in うらわ学園
  - 元気アップ通信
  - みんなの学校
- ・ 一人ではできないので、ネットワークで相談して仲間を募る
- ・ 活動経費は、うらわ学園の協力のほか、企業などからの寄付も募る

- ・ 元気アップ通信であれば、スマイルハウスが発行している通信を活用して、みんなで作っていくことも考えられる。
- ・ 年度内には、次のアクションのお声かけをしたい

## 7. その他

ホームページ開設のお知らせ

ホームページ <https://genkiupnw.webu.jp/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/genkiup.urawaeast/>



ホームページ



フェイスブック

## 8. 情報交換会

## 9. 閉会